

学校長より ごあいさつ

本年度も引き続き湖南小学校長を務めます、伊藤 靖徳(いとう やすのり)と申します。

春休みが終わり、学校に子ども達の元気な顔と声が帰ってきました。湖南小学校の子どもたちの健やかな成長のために、精一杯務めていきたいと思ひます。



本年度は、開校150周年という節目の年になっております。保護者の皆様、地域の皆様と共に、記憶に残る記念の1年を過ごすことができたいと思ひます。様々な場面でご協力を仰ぐことがあるかと思ひますが、是非よろしくお願ひします。

◆こんな湖南小学校を目指します。

【学校教育目標】(諏訪西中・豊田小・湖南小 共通)

社会の中で、私もみんなも「幸せ」になる

【めざす子どもの姿】励む子

- ①興味をもって調べ、自分の言葉で発表できる湖南の子
- ②友達とわかり合い、ともに励まし合う湖南の子
- ③地域の人の姿に学び、感謝やあこがれをもつ湖南の子

今年度は、「自分の言葉で表現する」「友達とわかり合う」「地域の人に学ぶ」を3つの重点として、学校教育目標の具現をめざします。

◆本年度から、学校教育目標が大きく変わりました。

昨年度までの「湖南で学び、未来を創る子ども」も、地域とともに歩む、地域に開かれた学校として、すばらしい目標でありました。本年度からは、諏訪西中学校区として、諏訪西中、豊田小、湖南小で、この目標に向かって児童生徒を育てることになります。

昨年度、目標を決めたころは、「幸せ」の意味が曖昧だ。という御意見がありました。しかしこの目標は、幸せを目指すのではなく、みんなで幸せを考えていく、という目標です。「幸せ」を、みんなで一緒に考えていきましょう。「幸せ」は、児童一人一人違ふかもしれません。

めざす子どもの姿、「励む子」は、そのまま残しました。諏訪西中学校三年生が卒業していく姿に向けて、湖南小学校で取り組むことを、昨年度の先生方の御意見を参考に、具体的にしたつもりです。「興味をもって調べ、自分の言葉で発表できる湖南の子」「友達とわかり合い、ともに励まし合う湖南の子」「地域の人の姿に学び、感謝やあこがれをもつ湖南の子」

この湖南小の取り組みが、諏訪西中学校にどのようにつながるか、全職員で取り組みながら見極め、試行と改善を繰り返していきたいと思ひます。